

ふりがな	えむふいつしゃー				
団体名	一般社団法人Mfisea				
住所	〒 870 ー 0886 大分市 上田町1丁目12番26号E				
連絡先	080 ー 8492 ー 1107	FAX	0 ー 0 ー 0		
E-mail	info@mfisea.org				
HPアドレス	https://mfisea.org/				
代表者名	関 真希		会員数	30 人	
設立年月	法人設立年月:2022年1月 (任意団体としては2016年)		活動場所	大分県、長崎県	
活動資金	寄付金、助成金、補助金				
会員募集有無 (募集時期)	有り(随時)		会員募集対象		
活動分野を選択 してください (複数選択可)	☐ 地球温暖化 ☐ 環境美化 ☐ 自然保護・自然観察 ☐ リサイクル ☐ 環境教育 ☐ その他()				
設立目的	(背景・社会課題)海洋環境の破壊や水産資源の乱獲により世界的に魚の数は激減し、海は汚染し続けています。また、魚食文化は日本だけでなく世界中に広まり、日本を中心に食されていた魚料理もいまでは世界中の人が好んで食えることが当たり前の時代となりました。海洋資源は減少し、需要は増加していくという状態が継続的に続けば、近い将来、魚がこの世界から絶滅に至る可能性もあります。 (実現したいこと)そのために、Mfiseaは、"豊かな海を未来に"という想いを旨に活動しております。主に、海を愛する心を育むための活動(海に関わる体験型アクティビティ)、海を綺麗にする活動を推進しています。				
主な活動内容	1.親子のための大分の海を学ぶツアー (1)時期:2022年6月～8月(2回) (2)場所:大分県(大分市、臼杵市、佐賀関市等) (3)参加者:20名(親子 各回10名) (4)内容:魚釣りやクイズ式の講義を通じて海への愛情を育むとともに、海流や生息している魚のうつりかわりや、現状の海の抱えている問題(漁獲高の変化やマイクロプラスチック問題など)を学ぶ 2.清掃活動 (1)回数:年4回程度 (2)場所:大分県内のビーチ、対馬、壱岐などの離島 (3)参加者:150名(親子 各回50名) (4)内容:清掃活動を通じて海洋ごみの問題を学ぶ 3.深海における海洋問題の講演会 (1)時期:2021年5月(1回) (2)場所:大分県別府市 (3)参加者:30名(小学生を中心とした親子が対象) (4)内容: JAMSTEC 海洋研究開発機構の講師による深海でいま起きている海洋ごみの問題を学ぶ。 補足:離島での清掃活動について 【課題認識】 ・五島列島、壱岐、対馬列島は、対馬海流の影響で漂着(漂流)ゴミの問題が年々増加 ・韓国、台湾、中国製とみられるプラスチック、発砲スチロール、ペット・ボトル、ポリ容器等が、対馬・壱岐・五島列島地域をはじめ、日本海に面した広範囲な地域に漂着している ・対馬海流の影響や、特に北西の季節風が吹きつける冬場に大量に漂着するようになっている ・五島列島、壱岐、対馬列島は豊富な漁場としても知られており、釣り人にとっての聖地でもある。海洋生物の中には、人工のごみとエサの区別ができずに、間違えてプラスチックを飲み込んでしまうものもいる。こうした誤飲・誤食を繰り返す個体は、ごみが、胃などの消化器にたまり続け、エサを食べることができなくなり、死んでしまう場合もある。マイクロプラスチックを食べ続けた魚を人が食べた場合に、生物濃縮された魚であれば、余計に発がん性の原因にもなりえるし、良いことはない				
表彰・受賞等	日本財団 海と日本プロジェクト 助成事業団体となります(2021年度、2022年度) その他、読売新聞、大分合同新聞、OBS、TOSなどのメディアにも多数活動を取り上げられています。				
その他の本市登録制度への加入状況	その他は登録していません				